

米取引関係者の判断に関する調査結果 (令和元年7月分)

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を毎月実施しています。

令和元年7月分の調査概要については次のとおりです。

【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDI[※]として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

令和元年7月分の主な調査結果

主食用米の需給動向のDI値は、前月と比べて現状判断は「やや増加」、見通し判断は「横ばい」となりました。

主食用米の価格水準のDI値は、前月と比べて現状判断は「やや減少」、見通し判断は「やや増加」となりました。

■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断DI 58（前月からの増減 +2）
イ. 見通し判断DI 51（前月からの増減 ±0）

■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断DI 68（前月からの増減 -2）
イ. 見通し判断DI 54（前月からの増減 +3）

※DI (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

米取引関係者の判断(令和元年7月)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア)現状判断DI

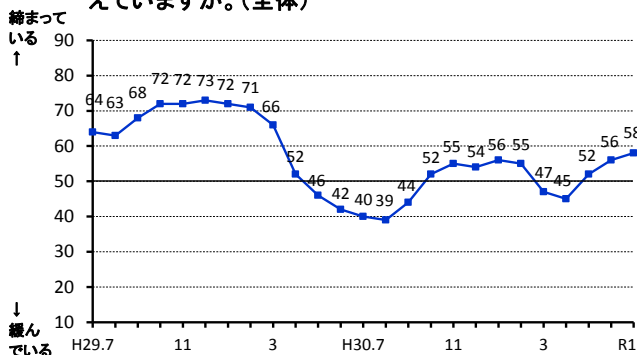
前月からの増減 +2 (今月の数値 58)

(イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

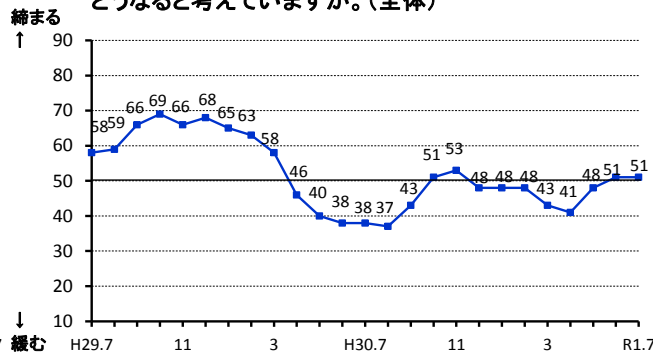
前月からの増減 ±0 (今月の数値 51)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア)現状判断DI

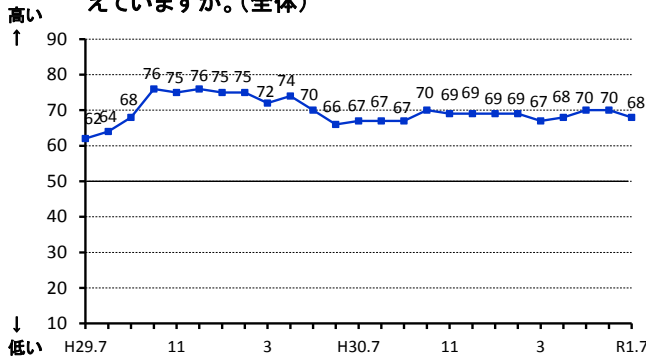
前月からの増減 -2 (今月の数値 68)

(イ)見通し判断DI(向こう3ヶ月)

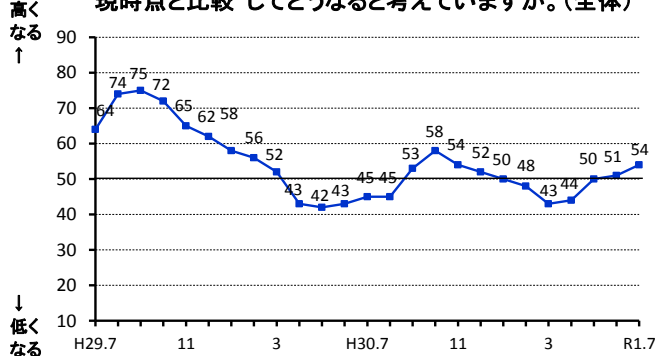
前月からの増減 +3 (今月の数値 54)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、現時点と比較してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H29.7	4%	15%	11%	60%	5%	5%	1%
H29.8	17%	14%	13%	48%	5%	2%	2%
H29.9	20%	8%	12%	49%	6%	4%	2%
H29.10	26%	10%	8%	50%	3%	3%	1%
H29.11	17%	13%	9%	49%	8%	3%	0%
H29.12	13%	13%	7%	56%	7%	4%	0%
H30.1	7%	14%	8%	56%	11%	4%	0%
H30.2	3%	20%	7%	59%	8%	3%	0%
H30.3	3%	18%	8%	53%	11%	6%	0%
H30.4	2%	18%	4%	56%	14%	6%	0%
H30.5	1%	18%	6%	60%	12%	3%	0%
H30.6	2%	17%	4%	60%	13%	5%	0%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.7	9%	16%	5%	51%	14%	4%	1%
H30.8	12%	12%	5%	55%	12%	4%	1%
H30.9	11%	15%	4%	54%	10%	5%	0%
H30.10	20%	9%	2%	51%	12%	5%	0%
H30.11	19%	11%	3%	50%	11%	5%	1%
H30.12	11%	13%	3%	57%	11%	4%	1%
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、
 反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

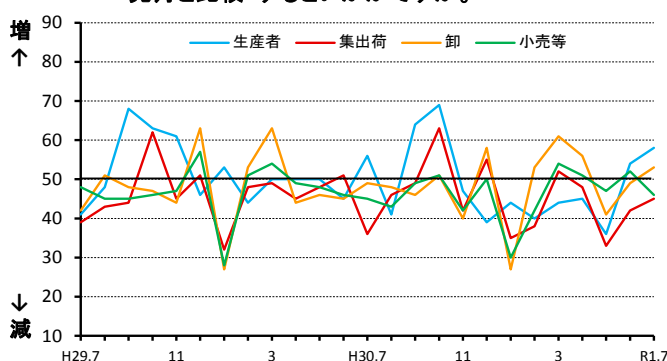
a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 58)
集出荷	： 前月からの増減	+3	(今月の数値 45)
卸	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 53)
小売等	： 前月からの増減	-6	(今月の数値 46)

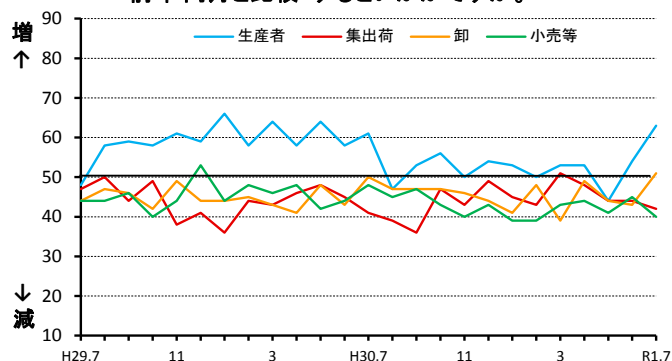
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+9	(今月の数値 63)
集出荷	： 前月からの増減	-2	(今月の数値 42)
卸	： 前月からの増減	+8	(今月の数値 51)
小売等	： 前月からの増減	-5	(今月の数値 40)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、 ”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、 ”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

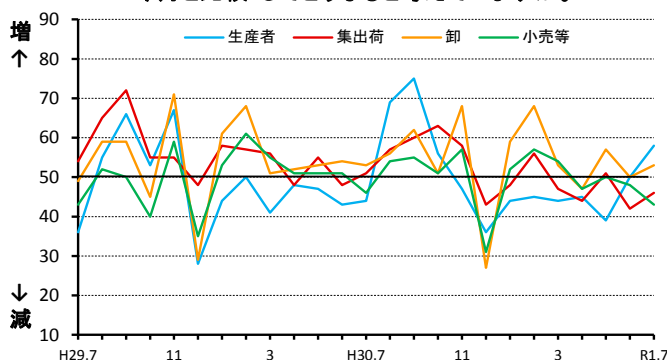
a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	+8	(今月の数値 58)
集出荷	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 46)
卸	： 前月からの増減	+3	(今月の数値 53)
小売等	： 前月からの増減	-5	(今月の数値 43)

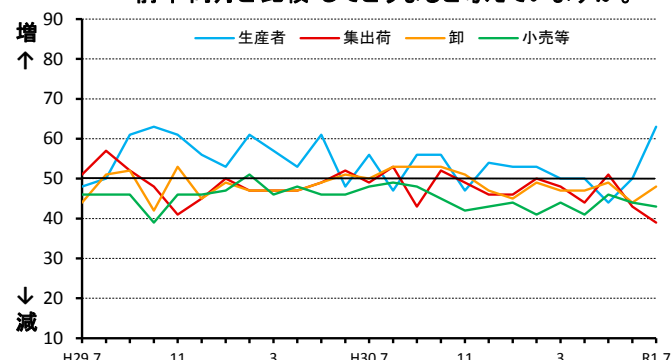
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	+13	(今月の数値 63)
集出荷	： 前月からの増減	-4	(今月の数値 39)
卸	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 48)
小売等	： 前月からの増減	-1	(今月の数値 43)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、 ”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、 ”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

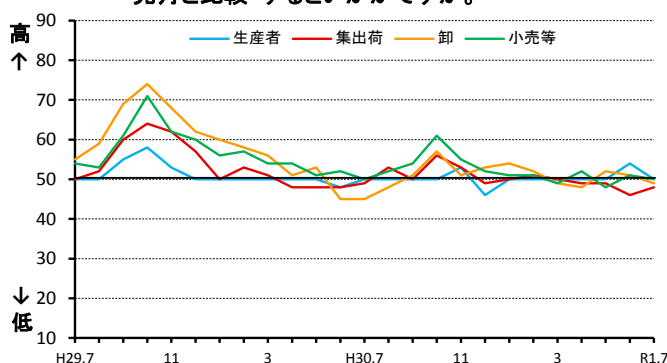
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-4	(今月の数値 50)
集出荷：前月からの増減	+2	(今月の数値 48)
卸：前月からの増減	-2	(今月の数値 49)
小売等：前月からの増減	-1	(今月の数値 50)

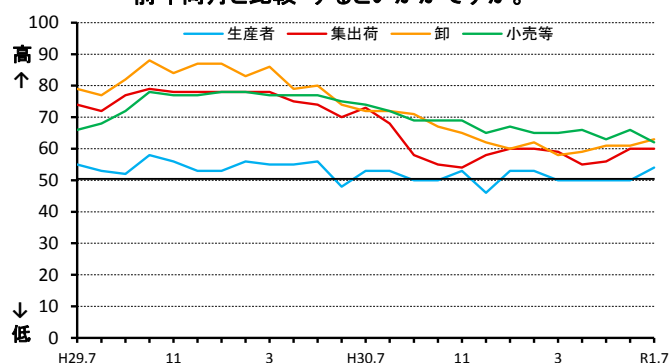
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+4	(今月の数値 54)
集出荷：前月からの増減	±0	(今月の数値 60)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値 63)
小売等：前月からの増減	-4	(今月の数値 62)

②-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

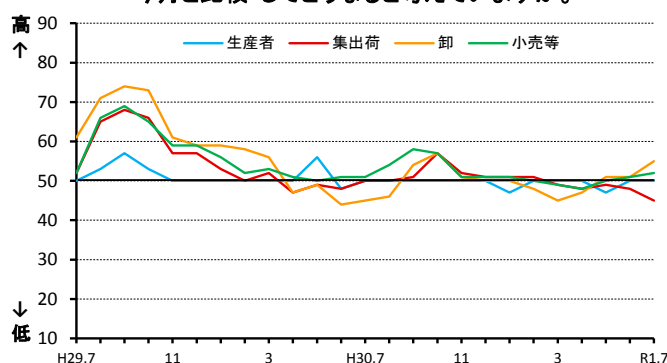
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	±0	(今月の数値 50)
集出荷：前月からの増減	-3	(今月の数値 45)
卸：前月からの増減	+4	(今月の数値 55)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値 52)

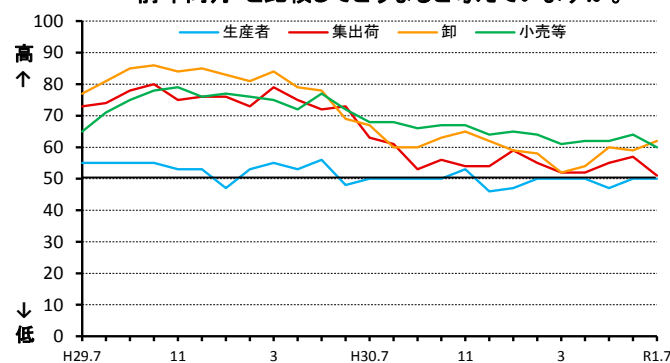
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	±0	(今月の数値 50)
集出荷：前月からの増減	-6	(今月の数値 51)
卸：前月からの増減	+3	(今月の数値 62)
小売等：前月からの増減	-4	(今月の数値 60)

②-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

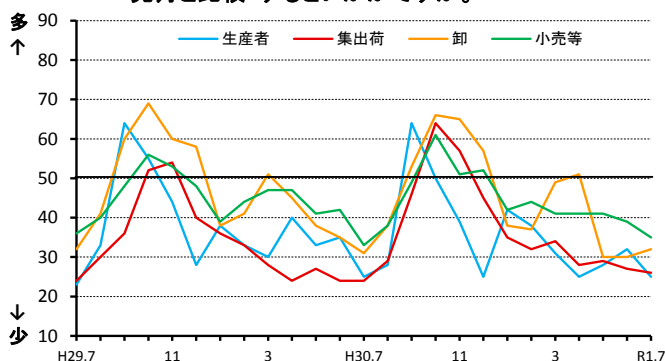
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-7	(今月の数値 25)
集出荷：前月からの増減	-1	(今月の数値 26)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値 32)
小売等：前月からの増減	-4	(今月の数値 35)

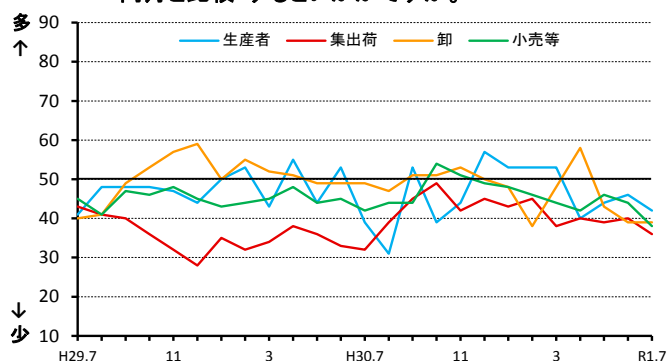
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-4	(今月の数値 42)
集出荷：前月からの増減	-4	(今月の数値 36)
卸：前月からの増減	±0	(今月の数値 39)
小売等：前月からの増減	-6	(今月の数値 38)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

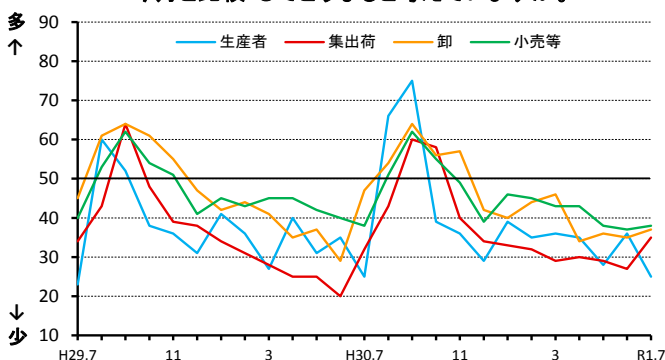
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-11	(今月の数値 25)
集出荷：前月からの増減	+8	(今月の数値 35)
卸：前月からの増減	+2	(今月の数値 37)
小売等：前月からの増減	+1	(今月の数値 38)

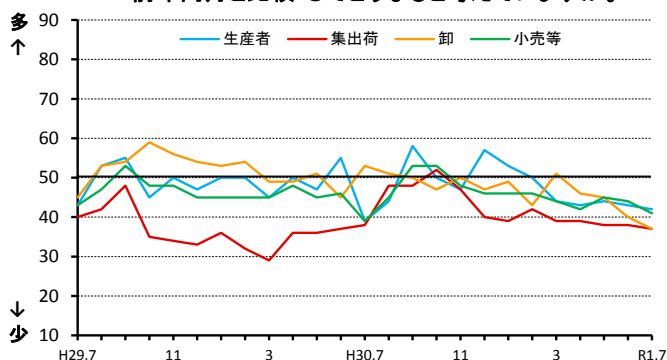
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-1	(今月の数値 42)
集出荷：前月からの増減	-1	(今月の数値 37)
卸：前月からの増減	-3	(今月の数値 37)
小売等：前月からの増減	-3	(今月の数値 41)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
 - 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
 - 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の160客体
 - 有効回答数：113客体
 - 生産者 6
 - 集出荷業者／団体 21
 - 卸売業者(主に主食用米) 28
 - 小売業者／中食・外食業者 ... 43
 - その他 15
- ※「その他」は以下の業者です。
- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 - ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者
- 結果公表：翌月上旬(公表日時は半期ごとにホームページに掲載)

《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、当面の間試行的に実施するものであり、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
公益社団法人米穀安定供給確保支援機構
情報部 TEL03-4334-2161
担当：藤原 小野塚